

「神奈川県と小田急電鉄株式会社とのSDGs推進協定」
に基づく具体的な連携事業(今後、実施に向けて検討する項目を含みます。)

連携事項	内容
	  <p style="text-align: center;">＜住み続けられるまちづくりを＞</p>
次世代モビリティサービスの実現に向けた実証実験の推進	・江の島エリアでの自動運転バスの実証実験や箱根・新百合ヶ丘エリアでの MaaS 実証実験などを通じて、多様な交通モードのシームレスな連携によるモビリティサービスの実現を推進
鉄道インフラの強靱化	・強靱な鉄道インフラ構築に向けた、県内における踏切の解消やホームドア整備、バリアフリー化等の推進
コミュニティ活性化に向けた多世代交流等の連携促進	・持続可能なコミュニティの実現に向けて、小田急沿線の団地をフィールドにした、県民が人生 100 歳時代をいきいきと暮らすことができる仕組みづくりとして、県が進めている多世代交流に係る取組における連携
県内観光資源の活性化に向けた連携施策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピック等の大規模国際イベントの更なる盛り上げと、沿線観光資源（箱根、丹沢・大山、江の島・鎌倉等）の活性化に向けた施策の検討、推進 ・未病バレエ「ピオトピア」や県立都市公園を新たな観光資源と位置づけた施策の検討、実施
	  <p style="text-align: center;">＜人や国の不平等をなくそう＞</p>
「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及	・「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及に向けた情報発信に関する連携
障がい者が働きやすい環境づくり	・小田急電鉄の特例子会社ウェルハーツ小田急において職場見学・体験などを実施するとともに、障がい者が働きやすい環境づくりに連携して取り組む
鉄道インフラの強靱化（再掲）	・強靱な鉄道インフラ構築に向けた、県内における踏切の解消やホームドア整備、バリアフリー化等の推進



<つくる責任つかう責任>



食品ロス削減に向けた新たなサービス展開の検討	・食品リサイクルループ（小田急グループの施設などで発生した食品廃棄物を養豚の飼料に再利用し、その飼料で生育した食肉を販売する仕組み）の拡大に向けた連携
循環型社会形成に向けた取組の強化	・サーキュラーエコノミー事業の推進等を通じた循環型社会に向けた連携を強化 ・プラスチック代替素材「LIMEX」の導入を検討



<すべての人に健康と福祉を>



未病コンセプトの発信	・県が進める未病コンセプトの発信に向け、小田急電鉄が実施するイベントでの県ブースの出展などに連携して取り組む
健康経営の推進	・従業員の未病改善の取組として健康経営責任者（CHO）を中心とした健康経営の推進
未病改善に向けた未病バレー「ビオトピア」の利用促進	・未病バレー「ビオトピア」の利用促進のため、駅構内や車内での案内表示等を検討
未病バレー「ビオトピア」、小田急沿線自然ふれあい歩道を活用した未病改善イベント等の開催	・沿線住民等の未病改善に向け、未病バレー「ビオトピア」や「小田急沿線自然ふれあい歩道」を活用したイベントや生涯スポーツなどを連携して実施



<海の豊かさを守ろう>



プラごみゼロに向けたリサイクルやクリーン活動の促進	・「かながわプラごみゼロ宣言」をふまえ、事業活動で発生するプラスチックごみのリサイクル率向上を目指すとともに、江の島海岸で実施する「クリーンキャンペーン」で連携
---------------------------	--



<パートナーシップで目標を達成しよう>

SDG s 普及啓発に向けた広報展開の促進	・小田急電鉄利用客に向けたSDG s 普及活動として、ポスター掲示やイベント等で連携
社会課題解決に資する新規事業創造の推進	・小田急電鉄のSDG s を起点とした事業アイデア公募「climbers」での採択事案での連携を推進。まず、採択事案の「ハンターバンク」を活用し、森林の生態系保護及び農業被害の抑制を推進する ※「ハンターバンク」は猟師の育成・支援を通じて森林の生態系を守り農業被害を防ぐ取組